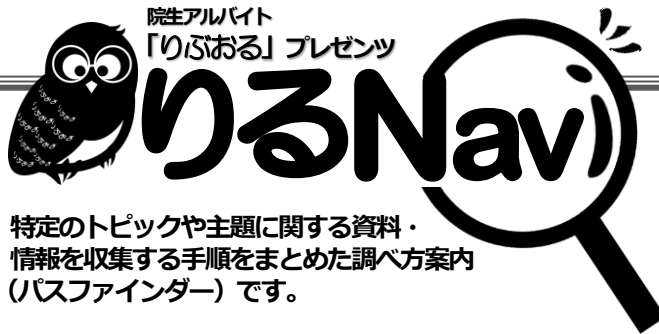


仏教学

Buddhist Studies



特定のトピックや主題に関する資料・
情報を収集する手順をまとめた調べ方案内
(パスファインダー)です。

りるNavi
Ritssho University
Library Learning Navigation

りぶおる
学生アルバイト「りぶたま(Librarianの卵)」
から発展した院生アルバイトの名称。
知の象徴である鳥【Owl】から派生して
名付けました。知識や知恵を集結させ
て生かしていく姿が、大学院生たちの
精鋭さを表しています。

仏教学とは

19世紀中ごろにヨーロッパで興った「インド学」から派生して成立した学問。イギリスを中心とした当時の学者が、インドの文化、宗教、歴史を明らかにする研究を進める中で、その地にかつて存在した「仏教」を発見する。遺跡の発掘調査、文献資料の読解といった「文献学」の手法に基づき仏教に接した彼らは、のち仏教は宗教か哲学か、といった議論を始める。日本には明治時代にイギリスに留学した学者によって仏教学がもたらされた。(「立正大学仏教学部HP」より参照)

分類 (NDC9版)

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野
180	仏教
181	仏教教理・仏教哲学
182	仏教史
183	経典
184	法話・説教集

分類番号	分野
185	寺院・僧職
186	仏会
187	布教・伝道
188	各宗

辞典・事典

以下【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

- 『図説佛教語大辞典』【180.3/N 37 品川2F参考図書】 中村元編著, 東京書籍, 1988
各語句に関連する図や写真を多く掲載。従来紹介されていなかった貴重な資料を豊富に収録し、数で表現されることばが分類図的にわかりやすく示されている。*50音順
- 『岩波仏教辞典』第2版【180.3/N 37 品川2F参考図書】 中村元 [ほか] 編, 岩波書店, 2002
仏教用語を中心に、文学・歴史・民俗・法事・行事・美術・人名等、広範囲に収録。思想としての仏教を広い視野で捉え、多面的な角度から解説した仏教辞典。*50音順
- 『仏教を知る本 ①人と歴史 人物, 仏教史』【180.3/N 71/1 品川2F参考図書】
日外アソシエーツ株式会社編, 日外アソシエーツ, 2009
人物やキーワードによって、仏教に関わった人物や仏教の歴史についての資料を探ることができる参考図書リスト。129のテーマを設け、それぞれに適した参考資料が挙げられている。人物の詳細な解説と関連する資料が網羅されている。同シリーズには他に「②思想と仏典」「③仏教のかたち」がある。*分野ごとに50音順
- 『佛書解説大辞典』(全15巻)【183.03/B 95/1~13, 別, 索 品川2F参考図書】
小野玄妙編纂, 大東出版社, 1964-1988
邦語・漢語の仏教典籍や、膨大な数の仏教書を解説した辞典。掲載項目は、題名・書名・具体名、略名・異名、巻数、存・欠、著者または訳者、著作年代または訳出年代、内容解説、注釈書・参考書類。さらに、写刊の年代、現所蔵者・図書館・書庫名・発行所名なども記載している。
- 『事典日本の仏教』【180.21/Mi47 品川1F図書】 袁翰題量編, 吉川弘文館, 2014
仏教誕生から日本伝来までを前史として、日本の仏教受容と発展を、教義と思想、宗派の特徴、僧侶の修行と学問、仏教を取り巻く社会や文化・芸術などから時代を追って解説している。現代社会や世界の宗教者との交流にも触れ、仏教の「今」を見つめる仏教史事典。

入門書

- 『**図解雑学 仏教**』【180/H 72 品川 1F 図書】 廣澤隆之著, ナツメ社, 2002
仏教を勉強するためにはまず仏教について知らなければならない。左ページは文章による説明、右ページは図解という仕様になっているため、初学者でも簡単に仏教の基本をさらうことができる。
- 『**仏教要語の基礎知識**』新版【181/Mi96 品川 1F 図書】 水野弘元著, 春秋社, 2006
仏教を学ぶ上で、基礎的で重要な「要語」についてまとめられている。仏教の定義分類から、四諦説、煩惱論等が収められている。また、特に重要な用語は太字で表され、仏教の特殊な難読字にルビが振られている等、入門書として読みやすい。
- 『**ブッダ入門**』新装版【182.8/N 37 品川 1F 図書】 中村元著, 春秋社, 2011
仏教の創始者、釈尊ゴータマ・ブッダが、どういった生涯を送り、どういった思想を抱いていたかを解明。神話、伝説を取り去り、一人の人間としての真実のブッダに迫ったブッダ伝。
- 『**仏教史研究ハンドブック**』【182/B 87 品川 2F 学修支援 (仏教) /品川 1F 図書】 佛教史学会編, 法蔵館, 2017
インド、アジア諸国、中国、朝鮮半島、日本の仏教の概要とその歴史について学ぶことができる。主題ごとに参考文献が載せられているほか、その主題の研究動向や課題と展望も掲載されており、論文を書く際の手掛かりになる。仏教史を新しく学ぶ人のみならず、幅広く、深く知りたい人にも最適の一冊。

雑誌

- 『**法華文化研究**』【R-1/64 品川 B3 紀要 (新刊は3F 立正大学紀要コーナー)】 立正大学法華経文化研究所
法華経およびそれに関連する文化の基礎的研究を行う法華経文化研究所の顧問および所員、特別所員、研究員の研究論文・資料等が掲載されている。年刊。
- 『**大法輪**』【180.5/20 品川 B3 雑誌 (新刊は3F 開架雑誌コーナー)】 大法輪閣
特定の宗派に偏らない総合仏教雑誌。専門的内容からはじめて仏教を学ぶ人のための入門的内容まで掲載。月刊。
- 『**印度学仏教学研究**』【180.5/105 品川 2F 参考】 山喜房仏書林
1952年の創刊以来、現在に至るまで続く日本印度学仏教学会による学会誌。インド学、仏教の研究者の寄稿を収録している。現在、著作権の許諾が得られたものに限り、科学技術振興機構が運営するJ-STAGE上に無償で掲載している。年2回発行。

インターネット 学会サイト等

- 『**日本印度学仏教学会**』 <https://www.jaibs.jp/>
インド学、仏教を研究する人や機関により構成される全国学会。学会紀要『印度学仏教学研究』を年2回発行している。HP内では、主に日本国内のインド学、仏教学に関する論文の書誌情報およびキーワードを収録した「インド学仏教学論文データベース(INBUDS) <https://www.inbuds.net/jpn/>」等のデータベースが利用できる。
- 『**日本佛教学会**』 <https://nbra.jp/>
仏教研究を主目的とする大学および短期大学や研究教育機関によって構成されている学会。年1回開催の学術大会で発表された論文を掲載した『日本佛教学會年報』を刊行している。HP内では、過去7年間の学術大会の詳細やレジュメ、1997年度以降の『日本佛教学會年報』の一部詳細や掲載された論文を読むことができる。